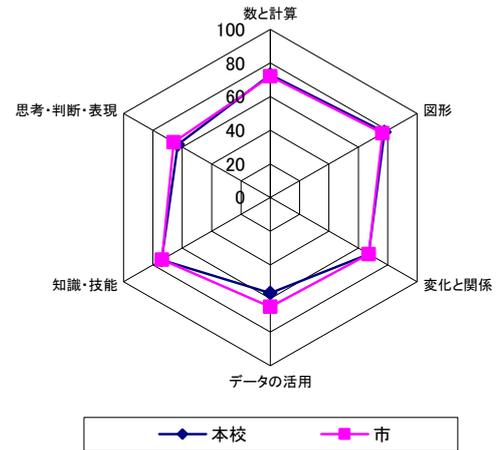


宇都宮市立桜小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

| | | 本年度 | | |
|-----|----------|------|------|------|
| | | 本校 | 市 | 参考値 |
| 領域別 | 数と計算 | 73.0 | 72.1 | 74.6 |
| | 図形 | 77.8 | 76.5 | 76.1 |
| | 変化と関係 | 67.1 | 67.1 | 59.7 |
| | データの活用 | 56.8 | 65.0 | 64.5 |
| 観点別 | 知識・技能 | 74.0 | 73.8 | 74.7 |
| | 思考・判断・表現 | 63.1 | 65.8 | 61.9 |
| | | | | |

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

| 領域 | 本年度の状況 | 今後の指導の重点 |
|--------|--|---|
| 数と計算 | <p>○数と計算の問題では、計算については市の平均正答率より高い。</p> <p>●文章に合う図と式を選ぶ問題や、文章を読んで式と答えを求める問題では、市の平均正答率より低い。</p> | <p>・宿題や朝の学習、授業の導入時などで基礎的な計算問題を繰り返し行ったことの結果が現れたと考えられる。基本的な計算の力を確実に身に付けるため、継続して計算練習を行っていくようにする。</p> |
| 図形 | <p>○点対称な図形に関する問題や、合同な三角形を作図する問題では、市の平均正答率より高い。</p> <p>●立体の展開図、線対称な図形の重なる頂点や対応する点を求める問題では、市の平均正答率よりやや低い。</p> <p>●複雑な立体の体積を求める問題では市の平均正答率より低い。</p> | <p>・応用問題を解くために必要な公式を使いこなせるようにするため、基本問題を繰り返し解き習熟を図る。</p> <p>・様々なパターンの問題を解くことにより、応用力を高めるようにする。</p> |
| 変化と関係 | <p>○表から車両数と人数の割合を求め、混み具合を選ぶ問題では、市の平均正答率より高い。</p> <p>●基準量と割合から、比較量を求める問題では市の平均正答率より低い。</p> | <p>・割合を求める基本問題を繰り返し解くことで理解を深めるようにする。</p> <p>・文章から、基準量を求めるのか、比較量を求めるのかを読み取れるように指導し、習熟を図る。</p> |
| データの活用 | <p>●円グラフを正しく読み取る問題では、市の平均正答率より低い。</p> | <p>・円グラフを関連付けて読み取れるように、割合の学習を振り返るようにする。</p> <p>・他教科でも学習を活用できるようにして習熟を図る。</p> |
| | | |
| | | |